

基準2 教育組織及び教員・教育支援者等

<p>評価の視点</p> <p>2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。</p>	
<p>観点2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 準学士課程の目的と卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての学科に関係する記述が明確になっていることを分析すること。</p> <p>○ 学科ごとの目的が、高等専門学校設置基準の規定に適合しているかどうかとともに、本評価書Ⅱに記載した学校の目的に適合しているかについて分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第116条 (設)第4条、第4条の2、第5条、第27条の3</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 学科の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。</p> <p>■整合性がとれている</p> <p>□整合性がとれていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◆学校の目的及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した学科の構成となっていることについて、資料を基に記述する。</p> <p>2-1-①-(1)-1(p78)_学校・学科・コースの目的と学科の定員</p> <p>2-1-①-(1)-2(p81)_学科・コースの内容が産業界のニーズに適合することを示す資料</p> <p>本校の「産業システム工学科」は、工学の主要分野である4つの専門コースから構成されている(資料2-1-①-(1)-1(p78))。各コースへの求人数は400～700件に上っており(資料2-1-①-(1)-2(p81))、本学科・コースの内容は、産業界のニーズに応えられる技術者を育成するとの本校目的、及びそれを具体化した卒業認定方針に適合する。本学科の定員は160名であり、各コース40名の募集人員としているため学級の規模は適正である。</p>
<p>観点2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 専攻科課程の目的と修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての専攻に関係する記述が明確になっていることを分析すること。</p> <p>○ 専攻ごとの目的が、学校教育法の規定に適合しているかどうかについて分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第119条第2項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	

<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 専攻の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 整合性がとれている</p> <p><input type="checkbox"/> 整合性がとれていない</p>	<p>◇本評価書Ⅱに記載したもの以外に専攻科規程等があれば、それがわかる資料</p> <p>2-1-②-(1)-1(p82)_専攻・コースの目的と定員</p> <p>2-1-②-(1)-2(p85)_専攻・コースの内容が産業界のニーズに適合することを示す資料</p> <p>◆学校の目的及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した専攻の構成となっていることについて、資料を基に記述する。</p> <p>本校の「産業システム工学専攻」は、工学の主要分野である4つの専門コースから構成されている（資料 2-1-②-(1)-1(p82)）。各コースの進学・就職の状況、および求人数（資料 2-1-②-(1)-2(p85)）から判断して、本専攻・コースの内容は、広く産業の発展に寄与する人材を育成するとの本校目的、及びそれを具体化した修了認定方針に適合する。本専攻の定員は28名であり、各コース7名の募集人員としているため規模は適正である。</p>
<p>観点2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 整備している</p> <p><input type="checkbox"/> 整備していない</p>	<p>◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制がわかる資料（当該事項を審議するための組織の構成図、運営規程等）</p> <p>2-1-③-(1)-1(p86)_運営委員会規則</p> <p>2-1-③-(1)-2(p88)_入学者選抜委員会規則</p> <p>2-1-③-(1)-3(p90)_教務委員会規則</p> <p>2-1-③-(1)-4(p91)_専攻科委員会規則</p> <p>2-1-③-(1)-5(p92)_校務運営機構図</p>

<p>(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇活動が行われている実績がわかる資料（当該事項の審議内容を記した会議の議事録や議事要旨等）</p> <p>2-1-③-(2)-1(p93)_委員会活動実績を示す資料</p>
<p>2-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p>	
<p>2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。</p>	
<p>観点2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した学校の目的に沿って編成された教育課程を展開するために、必要な教員が配置されていることを分析すること。</p> <p>（例1）目的に「国際的コミュニケーション能力を育成する」を掲げている場合、英語担当教員の配置の充実や、ネイティブスピーカーの配置の充実等。</p> <p>（例2）目的に「実践的技術者を育成する」を掲げている場合、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ (1)(2)に関し、専任教員数には助教の数も含めることができる（助手は除く。）。</p> <p>○ (4)(5)については、非常勤講師についても分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第120条 (設)第6条、第7条、第8条、第9条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表</p>
<p>(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	
<p>(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	

<p>(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。</p> <p>■担当が適切である</p> <p>□担当が適切でない</p>	<p>◇【別添】担当教員一覧表等</p>
<p>(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■博士の学位</p> <p>■ネイティブスピーカー（担当する言語を母国語とする）</p> <p>□技術資格</p> <p>■実務経験（教育機関以外の民間企業等における勤務経験者等）</p> <p>■海外経験</p> <p>□その他</p>	<p>◆配慮事項として掲げる博士の学位、ネイティブスピーカー、技術資格、実務経験、海外経験、その他の具体的な内容について、資料を基に記述する。</p> <p>別添の担当教員一覧表に示すとおり、得意とする専門分野の知識・技術を身に付けるため、専門コース教員の殆どが博士の学位を有している。また異文化を理解する姿勢を持った人材を育成するためネイティブスピーカー1名を配置しているほか、外国籍や海外経験を有する教員を配置している。また実践的技術者を育成するため民間企業等における経験を有する教員を配置している。</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な配慮事項を記述する。</p>
<p>観点2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した目的や修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて編成された教育課程を展開するために必要な教員が配置されていることを分析すること。</p> <p>（例）目的に「応用開発型技術者を育成する」を掲げている場合、博士取得者、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ 本評価書Ⅰ(1)4.において、特例適用専攻科について記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第119条第2項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>特例適用の審査結果より、各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されている。</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>

<p>(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>適切に確保している</p> <p><input type="checkbox"/>適切に確保していない</p>	<p>◇【別添】担当教員一覧表等</p> <p>◆左記について、資料を基に記述する。</p>
<p>(2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>担当が適切である</p> <p><input type="checkbox"/>担当が適切でない</p>	
<p>(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>担当が適切である</p> <p><input type="checkbox"/>担当が適切でない</p>	<p>◇適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当していることがわかる資料</p>
<p>観点2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令 (設)第6条第6項</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する□欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/>満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する□欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。</p> <p>■配慮している</p> <p><input type="checkbox"/>配慮していない</p>	<p>◇教員の年齢構成がわかる資料 (観点4-3-①の、教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する根拠資料を流用してもよい。)</p> <p>2-2-③-(1)-1(p102)_助教に限定した教員公募要領の例</p> <p>2-2-③-(1)-2(p103)_専任教員の年齢構成</p> <p>◆配慮の取組について、資料を基に記述する。</p> <p>各コース、教育科ごとに、教員の年齢構成を考慮して、新規採用職種 (およその年代) を決定するよう配慮している (資料 2-2-③-(1)-1(p102))。その結果、資料 2-2-③-(1)-2(p103)に示すとおり、年齢構成における著しい偏りは見られない。</p>
<p>(2) (1)以外に配慮している措置はあるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p>■教育経歴</p> <p>■実務経歴</p> <p>■男女比</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>2-2-③-(2)-1(p104)_教員公募における教育経歴・女性採用への配慮例</p> <p>2-2-③-(2)-2(p105)_教員公募における技術資格・実務経験への配慮例</p>

	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。(該当する選択肢にチェック■する。)</p> <p><input type="checkbox"/>学位取得に関する支援</p> <p><input type="checkbox"/>任期制の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公募制の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>教員表彰制度の導入</p> <p><input type="checkbox"/>企業研修への参加支援</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>校長裁量経費等の予算配分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ゆとりの時間確保策の導入</p> <p><input type="checkbox"/>サバティカル制度の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の教育機関との人事交流</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>2-2-③-(3)-1(p106)_教員公募制を定めた規定</p> <p>2-2-③-(3)-2(p107)_高専機構教員顕彰・八戸高専教員特別顕彰・研究費追加配分状況一覧表</p> <p>2-2-③-(3)-3(p108)_授業評価優秀教員表彰および研究費増額に関する規定</p> <p>2-2-③-(3)-4(p109)_H28 年度授業評価優秀教員</p> <p>2-2-③-(3)-5(p110)_ゆとり時間（週に1日以上以上の授業空き日）の設定状況</p> <p>2-2-③-(3)-6(p111)_他の教育機関との教員人事交流一覧</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>2-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p> <p>2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。</p>	
<p>観点2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/>満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 全教員（非常勤教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行</p>	<p>◇教員評価に係る規程等がわかる資料</p> <p>2-3-①-(1)-1(p112)_教員自己評価シート提出依頼社内メール</p> <p>2-3-①-(1)-2(p113)_学生による授業評価アンケート実施</p>

<p>う体制を整備しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 整備している</p> <p><input type="checkbox"/> 整備していない</p>	<p>要項</p>
<p>(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施している</p> <p><input type="checkbox"/> 実施していない</p>	<p>◇給与や研究費配分に活用することとしているか、教員組織の見直し等に活用することとしているかがわかる資料</p> <p>2-3-①-(1)-3(p114)_授業評価優秀教員の研究費増額に関する規定</p>
<p>(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。(該当する選択肢にチェック<input checked="" type="checkbox"/>する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 給与における措置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 研究費配分における措置</p> <p><input type="checkbox"/> 教員組織の見直し</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 表彰</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p> <p>◆評価結果を具体的にどのように活用しているのか、資料を基に記述する。</p> <p>2-3-①-(3)-1(p115)_昇給・勤勉手当用勤務成績優秀者一覧 (訪問調査時間閲覧資料)</p> <p>2-3-①-(3)-2(p116)_平成 28 年度授業優秀教員表彰者および研究費の追加配分</p> <p>教員の評価は、教員が毎年作成する自己評価書と授業評価アンケート結果に基づき校長が行っており、その結果は、期末・勤勉手当の査定や昇給に反映させている (資料 2-3-①-(3)-1(p115))。また優秀教員は表彰し、研究費を追加配分している (資料 2-3-①-(3)-1(p115))。</p>
<p>(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施している</p> <p><input type="checkbox"/> 実施していない</p>	<p>◇教員評価に係る規程等を定めた資料</p> <p>2-3-①-(4)-1(p118)_非常勤教員に対する評価を定めた要項</p> <p>◇実施していることがわかる資料</p> <p>2-3-①-(4)-2(p119)_学生による授業評価アンケート (非常勤講師) 結果例</p>
<p>観点 2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (3)の◆の自己評価において、採用や昇格等に関する規程が高等専門学校設置基準に適合することについて、採用や昇格に関して教育上の能力を考慮していることについても言及すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第 11～14 条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック<input checked="" type="checkbox"/>)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p>	

<input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教員（非常勤教員を除く。）の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p><input type="checkbox"/>定めていない</p>	<p>◇定めている規程がわかる資料（採用・昇格に関する体制、方法、教員の資格、能力や業績に関する基準等が明記されているもの。）</p> <p>2-3-②-(1)-1(p120)_教員の採用に関する方法、基準等を定めた規則</p> <p>2-3-②-(1)-2(p121)_教員の昇任に関する方法、基準等を定めた規則</p>
<p>(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■模擬授業の実施</p> <p>■教育歴の確認</p> <p>■実務経験の確認</p> <p><input type="checkbox"/>海外経験の確認</p> <p><input type="checkbox"/>国際的な活動実績の確認</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>◇実施・確認していることがわかる資料</p> <p>2-3-②-(2)-1(p123)_技術資格・実務経験、教育歴の確認を示す資料</p> <p>2-3-②-(2)-2(p124)_模擬授業の実施を示す資料</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p><input type="checkbox"/>行っていない</p>	<p>◆左記について、採用・昇格の実績を踏まえ、資料を基に記述する。</p> <p>2-3-②-(3)-1(p125)_教員一次選考資料例（訪問調査時閲覧資料）</p> <p>2-3-②-(3)-2(p126)_教員選考委員会議事要旨例（採用）（訪問調査時閲覧資料）</p> <p>2-3-②-(3)-3(p127)_教員選考委員会議事要旨例（昇任）（訪問調査時閲覧資料）</p> <p>教員の採用は、教員選考委員会において公募により寄せられた書類に対する一次選考を行い、二次選考対象者を決定する。この際、本校の教員選考規則に記載のとおり高等専門学校設置基準を満たしているかどうかを確認される（資料 2-3-②-(3)-1(p125)）。二次選考では、模擬授業、英語による研究概要説明、教育に対する抱負の発表を求め、その後の面接で教育歴、実務経験、海外経験、課外活動に対する考え等を聴取している。これらを総合的に判断し採用の可否を判断している（資料 2-3-②-(3)-2(p126)）。学内の昇任についてもこれに準じている（資料 2-3-②-(3)-3(p127)）。</p>

<p>(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇非常勤教員の採用基準等の規程がわかる資料</p> <p>2-3-②-(4)-1(p128)_非常勤教員の採用基準等を定めた規定</p>
<p>2-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p>	
<p>2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。</p>	
<p>観点2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第17条の4</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を実施する体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇関係する委員会等の組織関係図、役割と責任が把握できる資料、関連規程</p> <p>2-4-①-(1)-1(p129)_FDの実施組織に関する規程</p> <p>◇実施体制・実施方針・内容・方法がわかる資料</p> <p>2-4-①-(1)-2(p130)_FD 実施方針・内容・方法に関する資料</p> <p>2-4-①-(1)-3(p131)_新任教職員に対するFD実施要項</p> <p>2-4-①-(1)-4(p132)_行事予定における授業相互参観期間の設定</p> <p>2-4-①-(1)-5(p133)_授業相互参観の実施要領</p>
<p>(2) 定期的にFDを実施しているか。</p> <p>■実施している</p> <p>□実施していない</p>	<p>◇実施状況（参加状況等。）がわかる資料</p> <p>2-4-①-(2)-1(p134)_FD 実施状況</p> <p>◇FDに関する報告書等の該当箇所等</p> <p>2-4-①-(2)-2(p135)_FDに関する報告書等の例（抜粋）</p>
<p>(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。</p>	<p>◆FDの結果、改善に結びついた事例で組織として把握している取組について、資料を基に記述する。</p>

<p>■結びついている □結びついていない</p>	<p>2-4-①-(3)-1(p137)_FD 資料の例 (抜粋) 2-4-①-(3)-2(p138)_FD により Web シラバス入力が進められた結果例 Web シラバスへの移行に伴い、全科目のデータを入力することが必要になったことから、Web シラバスの利用法に関する FD を開催した (2-4-①-(3)-1(p137))。これにより全教員が入力作業を進めることができるようになり、期限内に Web シラバスへの移行が完了した (2-4-①-(3)-2(p138))。</p>
<p>観点 2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】 ○ 助手を配置している場合には、組織、人数、支援内容等の配置状況がわかる資料を提示すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第 120 第 1 項第 1 号、2 号、7 号 (設)第 7 条、第 10 条、第 25 条第 2 項</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教育支援者等 (事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。) を法令に従い適切に配置しているか。 ■配置している □配置していない</p>	<p>◇【別添】高等専門学校現況表、教育支援者に関する事務組織図、役割分担がわかる資料 2-4-②-(1)-1(p139)_事務組織図 2-4-②-(1)-2(p140)_事務組織規則</p>
<p>(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。 ■配置している □配置していない</p>	<p>2-4-②-(1)-3(p143)_教育研究支援センター規則 2-4-②-(2)-1(p145)_図書館への司書の配置</p>
<p>観点 2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。</p>	
<p>【留意点】 ○ スタッフ・ディベロップメント (管理運営等の研修) への取組は観点 4-2-⑤で分析するため、ここでは、FD に関連した教育の質の向上や授業の改善に関する教育支援者に対する取組を分析すること。FD への取組の中で教員と教育支援者双方を対象とするものも想定される。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>(1) 教育支援者等 (事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。) に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。</p>	<p>◇研修等の実施状況 (参加状況等。) の取組がわかる資料 2-4-③-(1)-1(p146)_研修受講者一覧 2-4-③-(1)-2(p147)_教職員対象オンライン英会話受講案</p>

<input checked="" type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	内
2-4 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	

基準2

優れた点
<p>教育支援者への研修等が充実しており、特に本校で力を入れている国際交流に関連してオンライン英会話の受講などが行われている。その成果として、学生の海外研修への帯同や帰校後の報告会なども実施されている。また、外国籍（カナダ、アメリカ、中国、韓国）の教員や、フランス出身の非常勤職員、弁理士資格を有する非常勤職員など、多様な教職員構成で教育に当たっている。</p>
改善を要する点
該当なし